

美原走ろう会 会報

2024年 第3号

美原走ろう会会長

発行責任者 川田 孝夫

編集責任者 藤本 和典

Topics

パリオリンピック2024 メダルラッシュの裏側 マラソン・チームジャパンのメダル



男女ともに6位入賞と奮闘

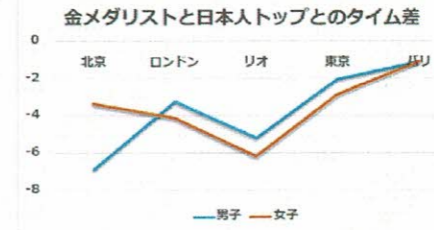
オリンピック史上最難関コースといわれる今回のパリマラソンコースでマラソン・チームジャパンは男女ともに入賞を果たしました。男子赤崎暁選手は2:07:32、女子鈴木優花選手は自己ベスト更新の2:24:02で共に6位入賞でした。

2004アテネ以来メダルなし

20年前のアテネ大会で野口みずき選手の金メダルを最後に日本のマラソンのメダルはありません。男子は1992バルセロナ大会の森下広一選手の銀メダルが最後です。そのバルセロナでは有森裕子選手の銅メダルと合わせて男女共にメダル獲得という全盛期でした。

2020東京を目指してMGC導入の効果は

一発勝負の戦い方が培われたか
低迷の打開策として、東京オリンピックの代表選考からマラソン・グランドチャンピオン・シップ(MGC)の導入に踏み切りました。いろんな説はありますが「一発勝負の強さ」を育成する目的があります。オリンピック前となると駅伝とMGCとの掛け持ちなど課題は残るものの、徐々にその効果は出てきているのではないかと感じます。



金メダルとの差は1分少々

北京大会以降、金メダリストと日本人トップ選手とのタイム差を見ると男女とも徐々に近づいており、パリ大会では、男子で1分6秒、女子で1分7秒です。そこに上位6人がひしめき合っている状況です。ロスでは24年ぶりのメダルが期待できるかもしれません。

怪我のないトレーニング

日本記録を更新した前田穂南選手のこの度の棄権には皆さん驚かれたと思います。怪我でスタートラインに立てなかった選手がその陰には大勢います。その克服がロスに繋がるかもしれません。

新たな敵かも

マラソン界に新星のように現れたのが、女子マラソン金メダリストのシファン・ハッサンです。オリンピック期間中に5000m銅、1万m銅そしてマラソン金と3つのメダルを獲得しました。中距離の選手がどんどんマラソンに流れてきます。ロス大会でのマラソンでのメダル獲得には、まだまだ課題はたくさんありそうです。マラソン・Tジャパンに期待!



恒例! 二上山登山 雌岳・雄岳・初ルート

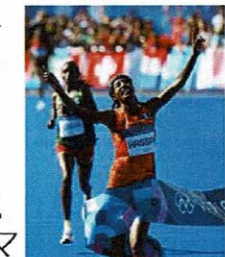
8月最後の日曜日は恒例の二上山登山。「数年前までは登山口まで走って行ってたよな」とか言いながら、美原グランドから2台の車に便乗して登山口へ向かいました。

相変わらず厳しい上り坂

万葉の杜ルートは登りが厳しく、年々会話が途絶え黙々と登る様になってきました。雌岳に到着すると、その辛さも忘れて登ってよかったと達成感に浸ります。勝手なものです。

奥が深かった二上山登山

雌岳から雄岳に向かい517mの頂上で一服。下山ルートはトレイルランの達人藤原さんの案内で未知の世界へ。雄岳を迂回する様になだらかに下る気持ちのいいコースでした。途中の少し開けた休憩所からは違った角度からの南大阪の街が見下ろせました。馬の背から脇の小道にそれると今度は岩場のある難関ルート。崖崩れの倒木を超え無事下山しました。お疲れ様



Official Report

6/9 美原マラソン準備打合せ会

今年第10回を迎える美原マラソン。孤軍奮闘の釜野顧問の負担軽減のため、半年前から開催に向けての準備、役割分担をすることにしました。今回は第1回目で準備事項の棚卸をしました。

7/14 申告タイムレースは秋へ

天候が不安定で、都合が付かないメンバーもあり、秋に延期となりました。

7/14 美原マラソン準備打合せ会

第2回目となる準備打合せを行いました。準備事項の内容を確認しました。

7/20 延暦寺日帰り研修旅行



コロナ禍で2019年潮岬へ行って依頼、5年ぶりの研修旅行を日帰りで実施しました。大津市坂本から比叡山に登り延暦寺を参拝するコースに8名が参加しました。

7/26 パリ五輪2024開幕



パリ五輪が7/26から17日間の日程で開催されました。日本は海外開催では過去最高の、金20銀12銅13、合計45個のメダルを獲得しました。金メダル数では米中に次ぐ3位と大健闘で幕を閉じました。

8/25 恒例! 二上山登山



今年も元気に8名が恒例の二上山登山に参加しました。



念願の日帰り研修旅行 比叡山延暦寺

熱の冷めないうちに行こう!

秋頃に計画していた日帰り研修旅行が、いきなり7/20(土)に決行となりました。久々の研修旅行に秋まで待てないというのが皆さんの意向でした。

新快速で比叡山坂本、そこから海拔848mまでの旅 美原走ろう会の真骨頂は脚で稼ぐこと

これからは公共交通機関を活用

一泊研修旅行はマイクロバスが定番でしたが、長年お世話になっていた運転手の村上さんが亡くなられ、マイカーも遠距離は運転手の負担が大きいということで、JRで行くことになりました。新快速で大阪から45分。

比叡山坂本駅からは自慢の脚で

安土桃山時代から伝わるといわれている石垣の道を歩き始め日吉神社の横を抜け登山口となります。水分補給に気を付けゆっくり登っていくと眼下には琵琶湖が見えてきました。ひと汗出てくると流石に皆さんの足取りは軽くスピードが上がってきました。八田顧問は普段の調子が出てきました。1時間程度で根本中堂に到着しました。



創設期を支えた仲間 宿谷さんとの再会



30年ほど前に美原区(当時美原町)から米原市(当時米原町)に転居された宿谷さん。JR比叡山坂本駅まで来て頂き合流。

懐かしい仲間との再会に話題は絶えませんでした。宿谷さんは西井さん、東田さんと合わせて昭和20年三羽ガラスの一人です。

涼しい山中で延暦寺巡り

点在する100ほどの御堂の総称である延暦寺。散策だけで3kほど歩くこととなります。散策後は延暦寺そばを頂き、宿谷さんはケーブルカーで坂本へと戻られました。宿谷さん、楽しい時間有難うございました!

更に比叡山山頂を目指して

根本中堂から山頂駐車場を経て、少々疲れが見え始めた自慢の脚に鞭打って山頂に到達。

自然と歴史に触れる研修旅行

天台宗総本山延暦寺を巡り、また深い森と涼しい風に囲まれ、日帰り研修でしたが充実した4時間でした。京都市八瀬まで下りる日本一長いケーブルカーに乗り京都の街を眺めながら下山しました。

八瀬は京都でも涼しい地域ですが、既に空気は下界のものでした。八瀬からは京阪電車で淀屋橋へ。皆さんお疲れ様でした。

